

大会宣言

2019 年末から続いた新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により浮き彫りになった、多くの労働者の置かれた不安定な状況、社会制度の不合理的・不条理による生活への不安は依然として解消されず、それに追い打ちを掛けるかのように、日々国内の物価は上昇を続けています。米の値段が2倍3倍と急騰するなど、労働者が「当たり前」の生活を、安心して営むことがより一層困難な社会情勢です。

原材料費や燃料費高騰により中小企業の経営は圧迫され、多くの労働者の賃金の上昇は物価上昇に追いついていません。2年連続での5%台を達成したなどと報じられる春闘の影響は依然として大企業内のみに留まり、その大企業でも大規模なリストラが報じられるなどしています。

最低賃金の全国加重平均の上昇額は目安通りであれば63円となり、目安制度が始まって以降で最高額となる見込みで、すべての地域でようやく1000円に届きますが、依然として暮らしは楽になりません。また、このような最低賃金の上昇の経営への影響を避けようと、介護・福祉の現場などで処遇改善加算を加えてはじめて最低賃金を上回るような賃金設定をする使用者も目立ちます。

先の参議院選挙では与党は大きく議席を減らしました。しかしながら、ロシアによるウクライナ侵攻やイスラエルによるガザ地区でのジェノサイドが依然として終息の目処の立たない中、改憲派・軍拡派が多数当選し、差別を選挙に悪用するような差別排外主義的な政党が台頭し一定の議席を確保するなどにより一層深刻化した社会全体の右傾化を表象する深刻な結果となりました。また、地方でも差別的な言説で排外主義を訴える候補者が相次いで当選するなど、戦争がもうすぐ私たちの身近に迫っているのを感じます。

私たち労働者は団結によってこのような状況を打破する力を持っています。職場や地域の連帯・団結を阻むあらゆる格差・差別と闘い、命と生活を脅かす戦争に反対の声を上げましょう。

引き続き、闘う労働運動の大同団結を進め、1万人の全国ユニオンを目指し、それぞれの職場から見えてきた課題に取り組み、今こそディーセントワークを実現させましょう。全国のあらゆる職場で明るく・激しく・楽しく運動を展開していきましょう。

2025 年 9 月 6 日
全国ユニオン第 24 回 定期大会